

宗祖親鸞聖人  
御誕生  
立教開宗  
850th  
800th  
真宗大谷派(東本願寺)

〈慶讃テーマ〉



南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

第225号  
2022年(令和4年)  
6月15日



2022年4月6日 宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け並びに現如上人100回忌法要 撮影 角田 勝見さん

# おびひろ東別院

発行所  
真宗大谷派 帯広別院  
〒080-0803  
北海道帯広市東3条南7丁目7番地  
TEL 0155-25-1122  
FAX 0155-25-1124  
テレホン法話 0155-27-1313



発行者 輪番 田辺 豊  
門徒会長 中村 立美  
印刷 アド・プリント  
帯広別院ホームページ  
<http://obibetu.or.jp/>  
真宗大谷派 帯広別院 検索

## 「時機相応の法」

輪番 田辺 豊

蓮如上人は、『御文』第五帖一通において「末代無智の、在家止住の男女たらんともがらは、ころをひとつにして、阿弥陀仏をふかくたのみまいらせて」と言われます。ここに、時(時代)と機(人間)と法が示されています。

仏陀釈尊を中心に考えた歴史観に三時教があります。正法・像法・末法です。正法は釈尊滅後五百年間で、教(仏の教法)と行(実践)と証(さと)りの三つがすべて具わっている時代です。像法は正法のあと一千年間で、教と行が残っている時代。末法は像法のあと一万年間で、教のみが辛うじて残るといわれます。

親鸞聖人は、「高僧和讃」の終わりに(聖典P500)聖徳太子の誕生にふれられ、それは仏滅後一千五百二十一年也と記されています。そういたしますと、聖人は釈尊入滅を紀元前九百四十九年頃と見ておられたようであり、聖徳太子の誕生は既に末法に入っていたこととなります。(正法を一千年間とする説もあり、それによれば像法の時代です)。また、蓮如上人がはじめて『御文』を書かれたのが千四百六十二年(聖典P1142)でありますので、既に末法の時代であります。その末法の時代を蓮如上人は末代とおさえておられるわけです。そして今日は、その末法がいよいよ深くなっているわけでもあります。

在家とは欲を認めた生活をする者ということでもあります。衣・食・住に、他者と比較しながら心をかけなければならぬ。欲を認めた生活でありますから、苦悩を免れることがないわけです。そして末代無智ですから、釈尊の教えから全く外れてしまった者であり、外れていることの自覚もないということなのです。

しかし、そういう存在が念仏によって意味が見いだされてくると言われるわけです。親鸞聖人は、釈尊入滅後の無仏の時に於いて成り立つことは何かということについて、「浄土真宗は、在世・正法・像末・法滅、濁悪の群萌、斉しく悲引したまうをや。」(聖典P357)と。末法の世を導く教えは如来の本願念仏の教え以外にはありませんといただかれています。

如来から、本願念仏の教えを通して私が目覚めることが待たれているのであります。

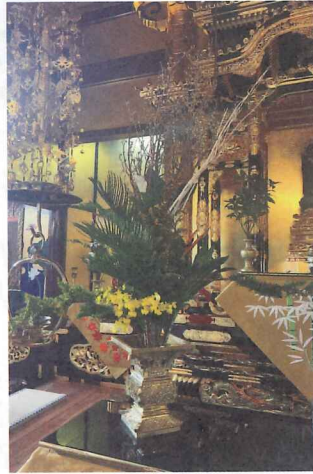
合掌



③お内仏(お仏壇)サイズの  
お正月の仏華



②白枝を真に用いて現如上人  
100回忌をテーマにした仏華



①桜を真に用いて慶讃をテーマに  
した仏華

帯広別院で荘厳されている  
日々の仏華を、ここに記載させて  
いただきます。



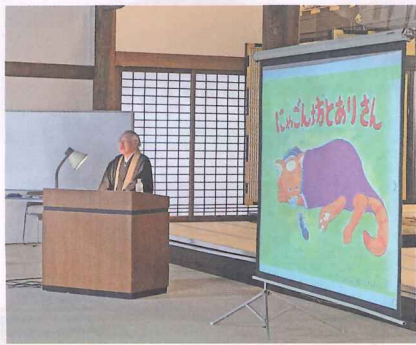
春季彼岸会  
永代経法要勤まる

3月18日から21日まで、春季彼岸会並びに永代経法要が、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら厳粛に勤められました。今回の法要は、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、十勝管内が蔓延防止等重点措置の対象となる中の法要となりました。

そのため、帯広別院へ仏法興隆のために尊い御浄財としてご志納された方々への記念品贈呈式は秋彼岸に引き続き延期とさせていただきます。

ご法話は、滋賀県湖南市より松本良平先生にご出講いただきました。21日中日のご法話では、松本先生が作成されました紙芝居をプロジェクトに映し披露されました。プロジェクトに映された絵や松本先生のやさしい読み語り、大人、小さな子供も聞き入っている姿が見受けられました。

十勝管内が、蔓延防止等重点措置の対象となる中の法要となりましたが、感染症対策と体調にご留意いただき4日間の法要期間には、100名程の御参詣をいただきました。



松本良平先生による紙芝居

婦人会総会・婦人会報恩講  
物故者追弔法会勤まる

4月6日午前10時00分より本堂にて、婦人会総会、婦人会報恩講、婦人会物故者追弔法会が開催されました。

今年度は、午後より宗祖親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要お待ち受け並びに現如上人100回忌法要が厳修されたので、例年より30分早めて開催されました。

総会では、輪番挨拶に始まり、2021年度事業・一般会計が報告、2022年度事業計画案・一般会計予算案が審議され、可決のうえ、役員紹介が行われました。

また、物故者追弔法会は、新型コロナウイルス感染症が発生してから延期しておりましたので、2019年4月から2021年3月までに命終された10名の婦人会会員が対象となりました。当日は、4名のご家族が参詣され、中尊前にて

ご焼香いただきました。法要後には、田辺輪番より物故者追弔法会の記念品が贈呈されました。

最後に角田敏子婦人会会長より、まだまだコロナが明け従来の形に戻るには時間がかかりそうだが、会員には引き続きのご協力と新規会員入会のお誘いをお願いされました。



『教行信証』学習会開催される

4月11日帯広別院大広間にて、第1回『教行信証』学習会が開催され、教区内僧侶、御門徒など50名程の参加がありました。この学習会は、前教学研究所長の楠信生氏が、発起人代表を勤められ、御講師は、教学研究所員の名和達宣先生に年3回、10年間わたりご出講いただき、帯広別院を会場とし開催されます。



帰敬式

(生前に法名をいただくことについて)

お参りに歩いていると、「お寺は死んだらお世話になるところ」「私は信心深くないからお寺には縁遠くて」などの声を聞くことがあります。また、法名は死んでから頂くものと考えている方が多いかと思えます。

しかし、お寺は決して死んでからのためだけにあるのではないし、また、お寺に足を運ぶことに信心の浅い深いが条件になることもありません。お寺は皆さんに、たくさんの素敵な「仏さまのことば」をお伝えしたいのです。生きている「今」において、仏さまのことばを私の人生の依りどころとして大切に生きていく、その始まりが生前に法名を頂くこと大切な意味となります。そのような「同朋」が一人でも多く誕生することを願い、今年度も真宗入門講座、帰敬式を開催いたします。

是非この機会に、ご参加いただきたくご案内申し上げます。受講、授式をご希望の方は、帯広別院までお問合せ下さい。



帰敬式(生前に法名を頂く儀式)を受けましょう

わかりやすい真宗教室に参加しましょう

法名をいただくまでのながれ



①法話を聞きます



②勤行を練習します



④法名が渡されます



③おかみそりを受けます

【内容】 法話・お内仏のお給仕・お勤めの練習  
法名授与

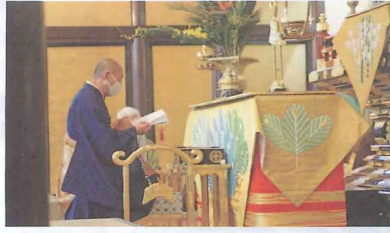
【日程】

第1回真宗入門講座	2022年9月4日(日)	午後1時半	～	3時半
第2回真宗入門講座	2022年9月11日(日)	午後1時半	～	3時半
《 帰 敬 式 》	2022年9月25日(日)	午後2時		

宗祖親鸞聖人御誕生850年  
立教開宗800年慶讃法要お待ち受け  
現如上人100回忌法要  
厳修される

4月6日に、宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要お待ち受け並びに現如上人100回忌法要が、一座法要にて厳修されました。2022年2月8日に100回忌を迎えた現如上人(第22代門首大谷光瑩)は、「大谷婦人会」の前身となる「大谷婦人法話会」を

1890年(明治23)9月20日に創立されたことから、大谷婦人会帯広別院支部が例年4月6日に厳修している報恩講に法要期日を合わせることになりました。法要にあたって北海道教務所よりお借りした、現如上人の御影像が御代前に御荘厳されました。法要は、田辺輪番が、導師



表白読誦 輪番



登壇 輪番



起立散華 輪番



外陣出仕



起立散華 内陣出仕者

を勤め、北海道教務所長(代理諏訪次長)、教区会議員、崇敬区御寺院組長、責任役員、院議会議員、崇敬区御寺院の教師補任10年以内の若手御僧侶に御出仕をいただきました。堂内は、別院門徒、崇敬寺院門徒と合わせて150名程のご参詣があり、用意した120席の参詣席は満席となりました。

御法話は、厚沢部町遠成寺住職菊地眞一先生に御出講いただき、2023年4月に御本山において厳修されます宗



挨拶 北海道教務所長(代理諏訪次長)



御講師 菊地 眞一先生

祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」を講題に掲げ2席お話をいただきました。

今回の法要は、全国において蔓延防止等重点措置は解除された後の法要となりましたが、気を許すことなく参詣者、出仕者の間隔を空けて、休憩の度に空気の入替など入念な感染症対策が行われました。

また、法要を厳修するにあたり帯広別院御門徒に駐車場警備、司会進行、受付、参勤法中接待、会場の片づけなどのご協力をいただき、職員と御門徒がより一層一体となった法要となりました。



挨拶 葛谷 和博 責任役員



参詣



司会 仙丸 勤 院議会議員



参詣

納骨堂参詣者は必ずお読みください  
お供物の意味

毎年納骨壇に沢山のお供物が上がっておりますが、お供物は先立たれた先祖が食するものではありません。私たちの今生かされている生命はすべてのものに支えられて生きています。特に食物は生命を支えてくれる代表的なものです。

その生命を支えて下さるお供物、食物は仏さまが私たちに、意味ある人生を果たして欲しい、と、お与え下さったものなのです。ですから仏さまのお供物は私たちが喜んでいただいてこそ意味があるのです。



盂蘭盆会について

【盆参り期間】

7月24日(日)〜8月20日(土)

7月上旬に、お参りの日時をハガキにて

ご連絡させていただきます。

尚、法事のご依頼は、日程調整のため

お早めにご相談下さい。

【盂蘭盆会法要】

8月12日(金)〜14日(日)(3日間)

午後1時〜3時 於 本堂

講師 松井 勇先生 (富山県南砺市)

【納骨堂申経期間】

8月12日(金)〜15日(月)

午前9時〜午後5時

※12時〜14時は本堂で法要のため中断

お供え物について

- ・お供え物は17日(水)までにお控え下さい。
- ・腐敗しやすい物はさけて下さい。
- ・ビンやカンは封を切らないで下さい。

### 2023年 ～春の京都へ～ 真宗本廟団体参拝旅行について



宗祖親鸞聖人御誕生850年・立  
教開宗800年慶讃法要が、京都の  
真宗本廟において2023年3月25  
日～4月8日・4月15日～4月29日  
の2期に分けられ厳修されます。帯  
広別院では、4月25日に厳修される  
法要へお参りさせていただくために  
左記の通り3泊4日の団体参拝旅行  
を行います。ご参加を検討の方は、  
8月25日までに帯広別院までお問合  
せ下さい。

日程 2023年4月23日  
～4月26日まで

定員 15名  
締切 2022年8月25日

### 第55回暁天講座のご案内

夏の暑さを避け、早朝の澄んだ空気の中  
で宗祖親鸞聖人があきらかにされた本  
願念仏の教えを聴聞いただく公開講座で  
す。  
皆さまの御聴聞、お待ちしております。

東別院会場 本堂  
午前6時30分～午前7時まで  
7月10日(日) 法話 鳥宮 隆法先生  
(豊頃町 興慶寺)  
7月11日(月) 法話 前田 瑞人先生  
(幕別町 永盛寺)  
7月12日(火) 法話 楠 宏生先生  
(愛別町 正行寺)

西別院会場 本堂  
午前6時30分  
～午前7時まで  
7月13日(水)～15日(金)  
法話 西別院



晨朝勤行の様子

### 帯広別院門徒会活動報告

5月15日午前中に帯広別院門徒会の  
有志14名にご奉仕いただき、境内地の  
花植えが行われました。前日から降り  
注いでいた雨は上がり、太陽が出るも  
のの山に雪が残っているものもあり、時  
折冷たい風が吹く中作業が行われまし  
た。用意された、マリーゴールド、サ  
ルビア、ペコニアなどの250株が、  
南門道路付近、西塀境内地付近に花植  
えがされ、本堂、会館、第二納骨堂前  
には、プラン  
ターが配置さ  
れました。  
次回の清掃  
奉仕など広く  
ご案内いたし  
ますので、お気  
軽に参加、お問  
い合わせ下さ  
い。



### 永代経志・寄贈披露

尊い浄財寄贈を賜りました。ここに御  
披露申し上げます。

- 【永代経志】  
令和3年12月3日 施主 萩野 忠司 様  
令和4年2月15日 施主 西江 和子 様  
令和3年12月24日 施主 牧野 タミ 様  
令和4年5月8日 施主 佐々木勝己 様
- 【寄贈品 座敷机1台】  
令和3年12月24日 施主 牧野 タミ 様  
【寄贈品 座布団9枚】  
令和4年5月8日 施主 佐々木勝己 様



寄贈 座敷机



寄贈 座布団

### 法座ご案内

【法要】案内  
先門首御命日法要  
毎月12日(速夜) 13日(日中)  
午後1時 法話  
12日 教区定例講師  
13日 輪番 列座

宗祖親鸞聖人御命日法要  
毎月27日(速夜) 28日(日中)  
午後1時 法話 輪番列座

【講座】案内  
婦人会定例 毎月6日  
午後1時 法話 輪番  
特別講座(大谷大学同窓会主催)  
講座・出会うということ  
1 仏教・真宗を通して  
7月1日(金) 午後2時30分  
講師 藤嶽 明信 先生  
(大谷大学 名誉教授)



## おびひろひがしyoung

2022年度がスタート!



やさしいおにいさん・おねえさ  
んが面倒をみてくれます



こいのぼりの準備をしている  
様子に釘づけ

### 子育て支援 さくらんぼ組 (1歳半～未就園児対象)

新型コロナウイルス感染症のため、一般開放をお休みしてしま  
したが、今年度から再開しています。  
この2年間、出産の喜びも束の間、新型コロナウイルス感染症の  
ため外出すらできないご家庭が多かったのではないのでしょうか。  
今、また十勝帯広では広がりを見せていますが、できる限り子ども  
たちだけでなく、子育てをがんばる保護者のかたにも交流できる場と  
して活用いただければと思います。  
活動にもよりますが、人数を制限しての開催となります。ご参加希  
望の方は、幼稚園までお問い合わせください。お待ちしております。

### 「不安」から「安心」へ...

4月1日、新年度が始まりました。子どもたちは、保護者  
にだっこされ、泣かずにやって来ます。  
「いってきます」と同時に保育者へバトンタッチ。  
大きな叫びにも似た泣き声。その後はひたすら待ちます。  
翌日、玄関で・・・あるいは昨日見た、母(父)と自分を  
引き裂く大人(担任)の顔を見て、大きな叫びにも似た泣き  
声とともに「帰りたい!」と全身を使い行動で示します。  
その繰り返しの日々、泣き声も少しずつ減り始めた頃、お  
仲間に入れてほしくて、私(園長)が手を差し出し「だっこ  
する?」という担任の保育者にしがみつきます。  
ほんの1週間足らずで誰が安心できる存在なのかかわって  
しまう子どもたち。  
「安心」できる存在として子どもたちに認めていただいた  
私たちは、「ともに生き ともに育ちあう」保育実践と子ど  
もたちの「笑顔」のために精進して参ります。



080-0812 帯広市東12条南6丁目2  
学校法人 帯広同朋学園 認定こども園帯広東幼稚園  
TEL (0155) 26-1570 FAX (0155) 26-1594  
HP <http://www.higashi-kodomo.jp/>  
Mail [e-child@ec6.technowave.ne.jp](mailto:e-child@ec6.technowave.ne.jp)